



6NC-EHRs 利用環境ガイド

6NC-EHRsを利用するまで

利用環境の制限確認

事前相談

利用審査の承認

利用環境の準備

解析環境の運用

6NC-EHRsを利用する為には、左記のプロセスを**上から順**に実施することが必須となっております。

本資料では、**利用環境に関する詳細を確認する資料**となりますので、事前相談・利用審査の承認については、公募の資料、またはJHのHPをご確認ください。

目次

利用環境の制限確認

事前相談

利用者の制限
端末の制限
データの制限
場所の制限
リモートアクセスと解析環境の制限

利用審査の承認

利用環境の準備

専用端末の準備
解析ソフトの準備
リモートアクセスの準備
セキュリティ対策

解析環境の運用

解析環境の概要
解析環境利用時の注意

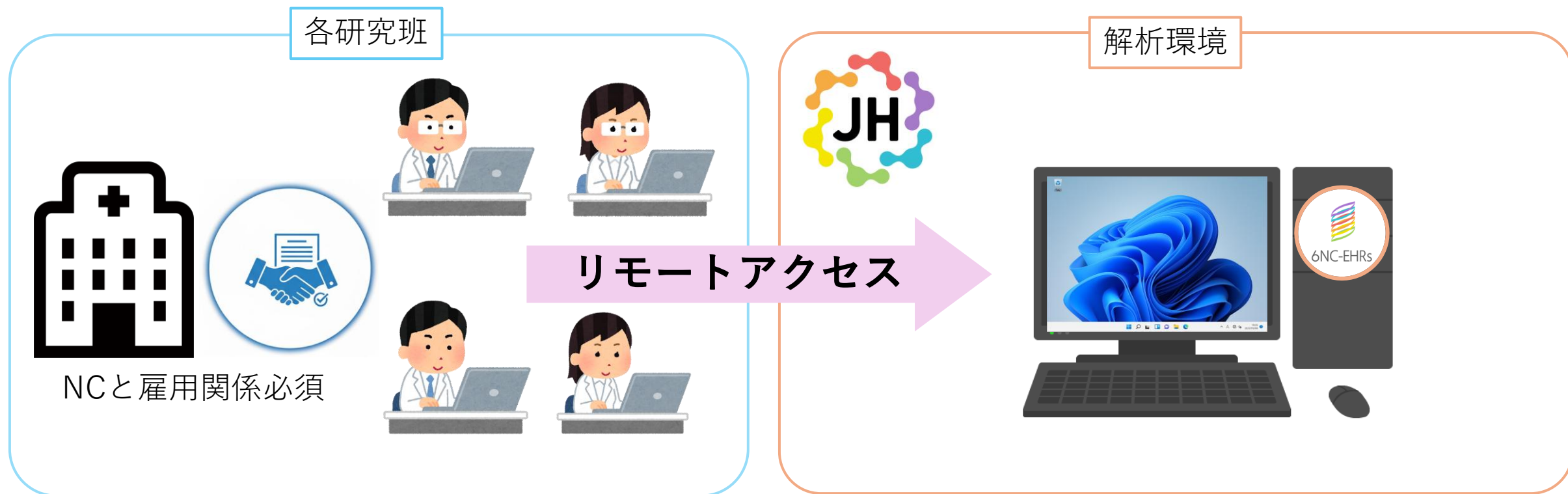
セキュリティチェック

- 利用者が利用環境の使用前に、JH指定のセキュリティ対策がすべて実施されているか、セキュリティチェックを実施します。
- セキュリティチェックの実施項目は、ページ右上に以下の赤枠があるページに記載されています。
- 詳細についてはP.14に記載があります。

セキュリティチェック同意事項
(P.14に詳細)

利用者の制限

- データ利用には、国立健康機器管理研究機構内に設置されたデータが格納されている解析環境へリモートアクセスする必要があります。
- 各研究班で、リモートアクセス可能な**担当者は原則4名まで**登録可能です。
- 担当者はNCとの雇用関係**があることを必須としています。



端末の制限

- リモートアクセスする端末は、以下の条件を満たしている必要があります。
 - 他者との共有利用は禁止の為、利用者1人につき 1 台用意
 - 所属組織のポリシーに従って用意された端末を利用
 - データ利用以外に使用しない、専用の端末を利用
 - 端末は申請した設置場所から持ち出さない

データの制限

- 6NC-EHRsデータの直接分譲は実施しておりません。
- 統計結果や解析結果は所定の確認を経た上で持ち出し可能です。

場所の制限

- データ利用を行う端末の設置場所は、**条件 1 または条件 2 を満たす場所を用意**し、設置場所名と利用環境の写真をセキュリティチェックにて申請する必要があります。
 - 条件 1**：プロジェクト関係者以外の出入りがない部屋を用意する。
 - 電子キー等で入退室の制御がされている。
 - 所属部署名が確認できるなど。

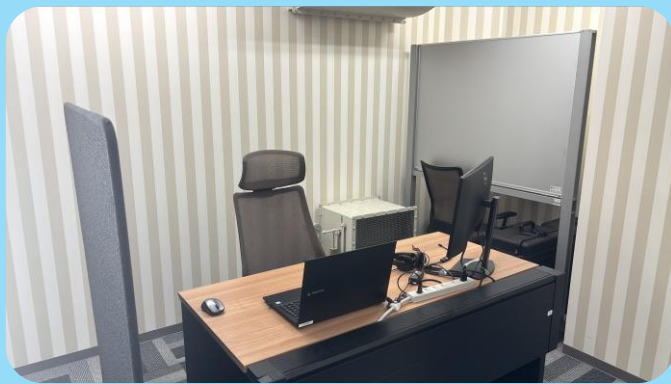
プロジェクト関係者以外の出入りがない部屋の例



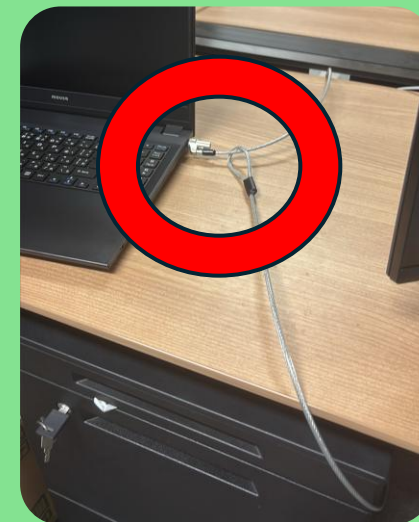
場所の制限

- **条件2**：プロジェクト関係者以外の出入りがある場合、以下2点の対策を実施すること
 - 第三者による覗き見防止対策
 - 例：配慮した設置、覗き見防止シート、など。
 - 盗難防止の対策
 - 例：ワイヤーロックの利用、施錠された引き出しへの格納、など。

覗き見防止シート 覗き見防止に考慮した設置など

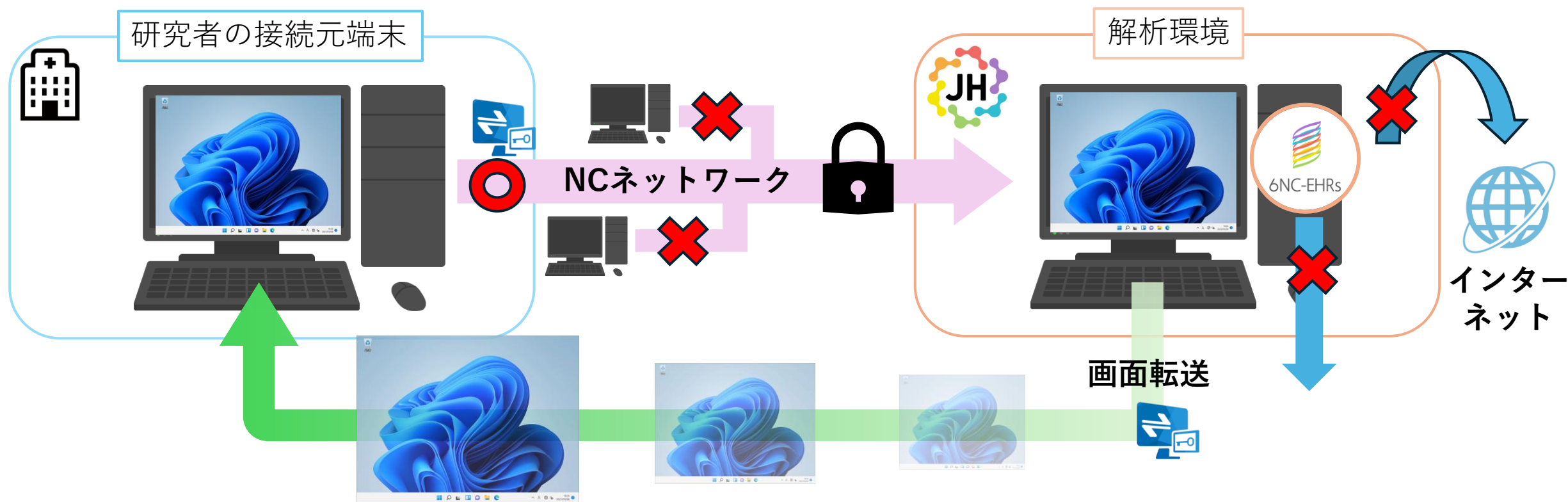


鍵付きキャビネット ワイヤーロックなど



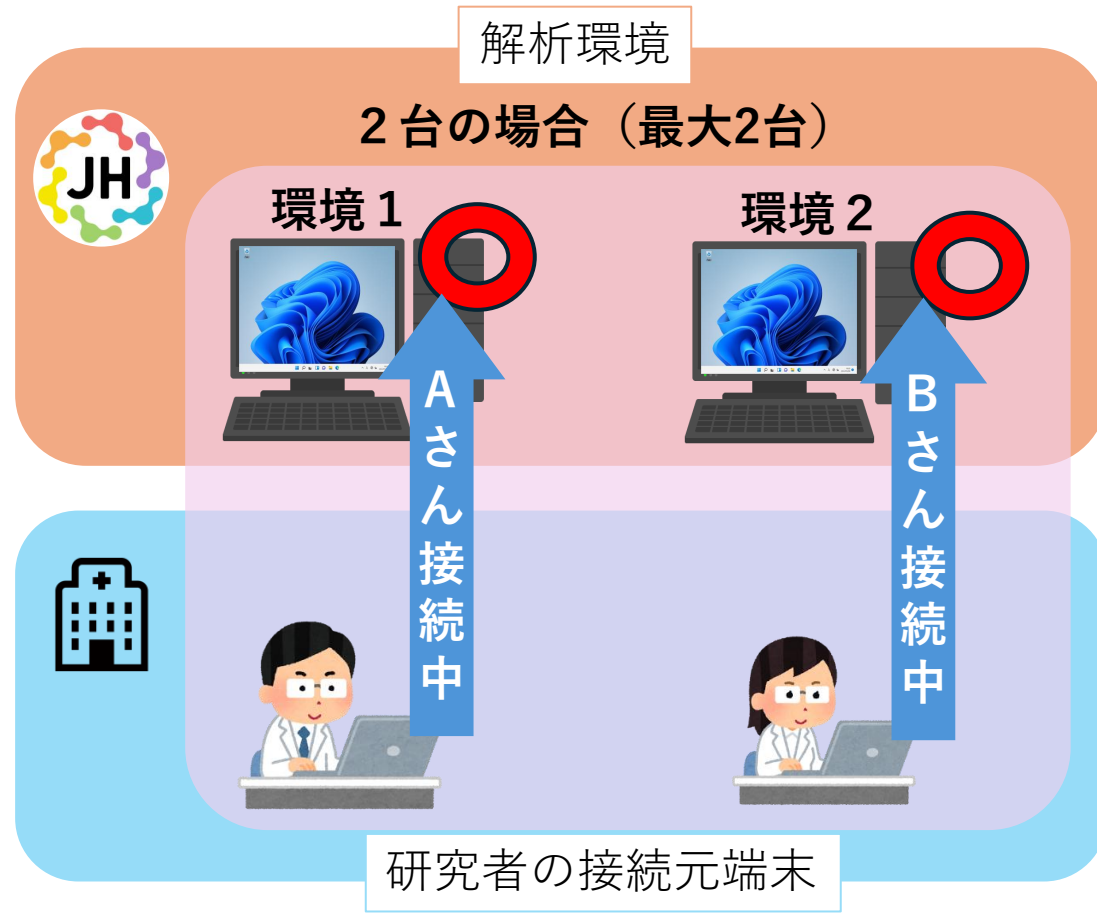
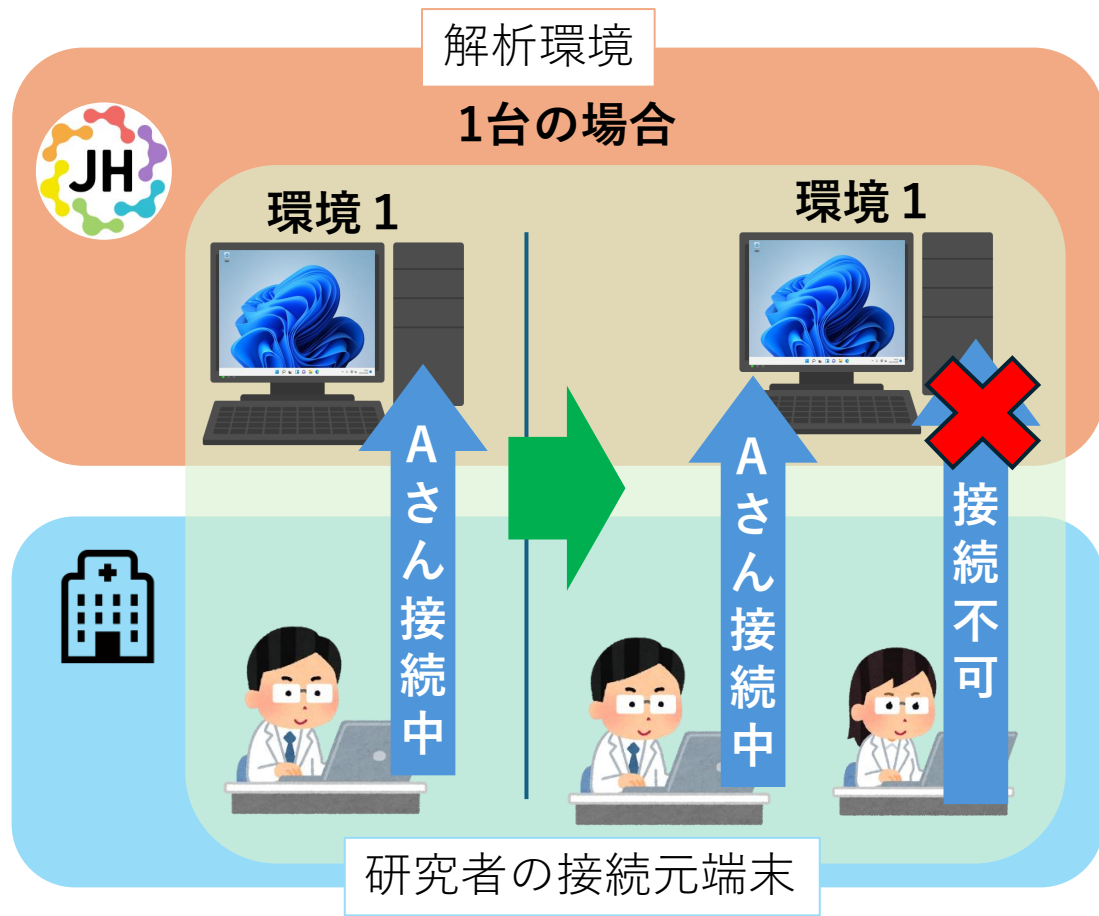
リモートアクセスと解析環境の制限

- リモートアクセスはNCのネットワークからのみ接続可能です。
- 解析環境からインターネットへの接続はできません。
- リモート接続には Soliton Secure Desktop（以下Soliton）というアプリを使用し、研究者の接続元端末に転送された解析環境の画面を操作する仕組みのため、データ自体を外部に出すことはできません。



リモートアクセスと解析環境の制限

- 各班に解析環境を最大2台までご用意できます。
- 1つの解析環境に複数人が同時接続することはできません。** によって、解析環境2台の場合、同時に利用できる人数は最大2名となります。



専用端末の準備

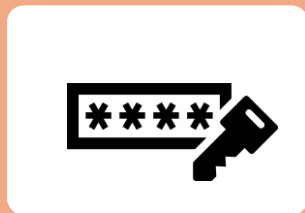
- 接続元の端末は、**Soliton**を利用し解析環境にリモートアクセスする為のものです。
- 解析能力は接続先の端末に依存するため、接続元の端末はハイスペックである必要はありません。
- Soliton利用に必要な端末のスペックは公式に公開されておらず、一般的なPCであればスペックの指定はいたしません。
- 対応OSについては以下、Solitonの公式ホームページより、「マルチデバイス製品 サポートOS 一覧」 - 「Soliton SecureDesktop (Client)」をご確認ください。
 - https://www.soliton.co.jp/support/sms_supportos.html

Soliton公式ホームページ
QRリンク

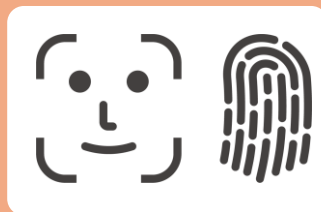


専用端末の準備

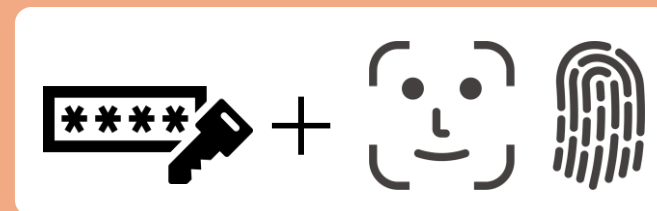
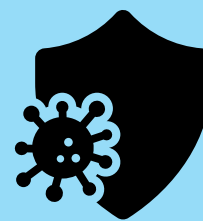
- **各施設のポリシーを優先**したうえで、以下のJHで定めたセキュリティ設定を行っていただきます。
- パスワードor生体認証orパスワード+生体認証で管理し、推定できないよう防止すること(平文でパスワード保存する、設定ファイルにパスワードの記載等)
- 接続元端末から離れる場合、認証機能による端末の画面ロックを行うこと。また、一定時間(15分程度)以上無操作の場合は認証機能により画面がロックされるように設定すること
- 最新のセキュリティパッチを適用すること
- 所属組織の指定するアンチウイルスソフトウェアを適用し常に最新のパターンファイルに更新されていることを確認すること



or

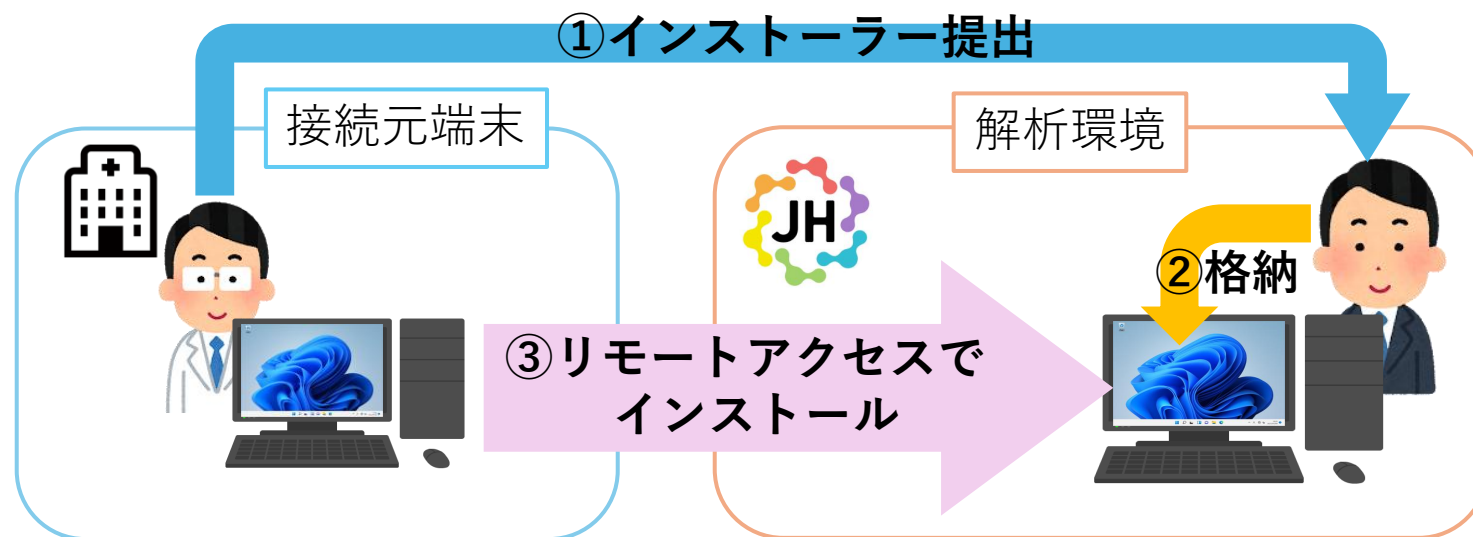


or

離席時画面ロック
+
画面ロック設定アンチウイルスソフト
アップデート
+
端末のOSアップデート

解析ソフトの準備

- 解析環境で扱うデータは大規模（数百万～数千万レコード以上）なものが中心となります。
- 提供するデータはCSV形式で提供します。
- 以下インストーラーは解析環境に格納されています。
 - R/R Studio Free版 各種
 - RDBMS：SQLiteとDB Browser for SQLite
- その他の解析ソフトを利用する場合、研究者にてインストーラーを用意する必要があります。
- 解析環境を2台利用する場合、2台分のライセンスが必要となる場合がございますのでご注意ください。
- インターネット接続ができない為、オフラインインストール可能なソフトをご用意ください。
- 過去インストールの実績
 - SPSS statistics
 - Stata17
 - Python
 - STATA



リモートアクセスの準備

- 解析環境へ接続する際に、**貴施設側のネットワーク環境によっては、貴施設にてリモートアクセスに必要な通信を許可するための申請が必要**となる場合があります。
- 詳細は利用承認後の資料に記載しております。

セキュリティ対策

- 接続元端末から解析環境へリモートアクセスするために、JHが指定するセキュリティ対策について全て実施済みとなっているか確認をします。
- このチェックは、**利用者本人による自己申告**で行います。内容を正確にご回答ください。
- 入力いただく端末情報は、実際にリモートアクセスに使用する端末・環境を入力してください。
- 解析環境の利用開始には、**すべての項目が実施済みであることが必須**です。
- セキュリティチェックは初回利用時の他、年1回4月に実施していただく予定です。
- 実施確認はFormにて回答していただきます。

本項目が下記の記載に該当する
セキュリティチェックの詳細解説です。

セキュリティチェック同意事項
(P. 14に詳細)

解析環境の概要

- 解析環境のスペック
 - OS：MS Windows 11 Pro
 - CPU：Intel Core i5 10210(Base:1.6GHz、 Boost:4.2GHz)
 - Mem：32GB
 - SSD：500GB（システム領域等含む）
 - 外部NAS：500GB
- 解析環境のスペックやOSは変更できません。
- 利用環境のアップデート等で不定期にメンテナンスを行います。メンテナンスは事前に通告し、1日～数日利用ができない場合があります。



解析環境利用時の注意

- データ表示画面の写真・動画撮影、画面キャプチャ等を実施しないこと。
- 画面等を研究関係者以外と共有することは絶対にしないこと。

